平成30年9月25日（火）

学力向上だより

深谷市立川本南小学校

【平成30年度　全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果】

平成30年度　全国学力・学習状況調査（6年児童対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年児童対象）の結果についてお知らせいたします。

調査結果をもとに、本校児童の課題を明確にし、一人一人の学習状況の改善につなげていきます。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

全国学力・学習状況調査（6年児童対象）の結果

平均正答率

（単位　%）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
川本南小	**73**	**57**	**66**	**48**	**59**
埼玉県（公立）	71	54	62	50	59
全国（公立）	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

（単位　%）

	質　問　事　項	川本南小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	**97.5**	95.4	94.5
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	**82.1**	80.7	77.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	**92.3**	90.7	88.8
	学校のきまりを守っている	**97.4**	93.5	89.5
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	**82.1**	71.2	67.6
	家で、学校の宿題をしている	**100**	98.0	97.1
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	**79.5**	69.8	62.6
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている（学習塾等で勉強している時間も含む）	**92.3**	66.5	66.2

教科への関心	算数の勉強は好きだ	**74.4**	64.6	64.0
	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	**100**	67.1	64.4
	理科の勉強は好きだ	**92.3**	84.2	83.5
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	**89.8**	68.0	64.7
その他	自分には、よいところがあると思う	**89.7**	82.1	84.0
	将来の夢や目標をもっている	**76.9**	85.7	85.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	**100**	94.8	95.2
	今住んでいる地域の行事に参加している	**82**	60.5	62.7

川本南小の「よかった点（〇）」と「課題（●）」

【国語】
〇国語 A・国語 B ともに、全国や県の正答率より高い。
〇領域でみていくと、国語 A では「言語事項」、国語 B では「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、全国や県の正答率よりやや高い。
●領域でみていくと、国語 A では「話すこと・聞くこと」で、全国や県の正答率よりやや低い。
●文中の主語と述語の関係に注意して、文を正しく書く問題に課題がある。
●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く問題に課題がある。
【算数】
〇算数Aは、全国や県の正答率より高い。
〇領域でみていくと、算数Aでは「量と測定」「図形」で、全国や県の正答率より高い。
●算数Bは、全国や県の正答率より低い。
●領域でみていくと、算数 B では「数と計算」「数量関係」で、全国や県の正答率より低い。
●メモの情報とグラフを関連づけ、総数や変化に着目していることを解釈し、記述する問題に課題がある。
●棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断する問題に課題がある。
【理科】
〇観察実験の技能は、全国や県の正答率より高い。
●科学的な思考、記述式の問題は、全国や県の正答率より低い。
【質問紙】
〇家で宿題や授業の予習、復習と計画的に勉強している児童の割合や平日、1日当たり1時間以上勉強をしている割合が、全国や県と比べて高い。
〇全ての児童が、毎日朝食を食べている。人の役に立つ人間になりたいと思っている。
〇算数や理科の勉強が好きだという児童の割合が、全国や県と比べて高い。
●将来の夢や目標をもっている児童の割合がやや低い。

課題への取組・改善策

【国語】
・互いに意見を述べ合う中で、各自の考えを広げたり深めたりできるように、意図的、計画的に機会を設定する。
・授業の中で自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすること、その場に応じた最も適切な表現をする活動を取り入れ、児童の言語活動の充実を図る。
【算数】
・計算の順序について、具体的な場面と結び付けながら説明し合う活動を多く取り入れる。
・示された情報と場面を図や言葉などに表し、数量の関係を的確に捉えさせ、説明する活動を多く取り入れる。
【理科】
・自然に対する関心・意欲を高めたり、問題意識をもたせたりする活動を展開する。
・予想や仮説をもたせ、それに基づいた観察や実験を計画していく授業の展開を行う。
【その他】
・深谷市授業スタンダード（めあて、見通し、振り返り）を活用した授業展開をする。
・本時の学習過程や児童の思考過程が分かる板書を行い、児童が何をどう書いていくか分かりやすいノート指導を充実させる。

埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年児童対象）の結果

平均正答率

（単位　%）

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
川本南小	**55.9**	**51.5**	**65.8**	**57.5**	**48.9**	**51**
埼玉県	62.0	58.6	64.9	62.1	56.8	55.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの
※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値　（単位　%）

		小4		小5		小6	
	質　問　事　項	川南小	埼玉県	川南小	埼玉県	川南小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	**89.5**	83.6	**80.6**	86.9	**94.3**	89.4
	・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができる（小4） ・自分からはっきりあいさつをすることができる（小5、小6）	**68.5**	80.4	**90.3**	81.1	**94.7**	82.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	**89.4**	83.4	**87.1**	84.4	**86.8**	86.5
学習習慣	・学校の宿題をしている	**100**	93.3	**100**	96.8	**100**	96.9
	・学校の授業の予習や復習をしている	**57.9**	68.1	**77.5**	71.6	**84.7**	71.9
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している（塾等を含む）	**42.1**	49.6	**38.8**	58.9	**57.9**	64.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き（勉強する理由として）	**68.4**	74.8	**51.6**	69.5	**63..1**	64.0
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ（勉強する理由として）	**78.9**	88.5	**100**	89.1	**94.8**	91.6
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	**68.4**	72.4	**71**	68.4	**76.3**	66.4
その他	・自分には、よいところがある	**63.2**	77.5	**60.7**	75.2	**73.6**	72.8
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	**63.2**	78.7	**74.3**	77.7	**84.2**	79.7
	・将来の夢や目標をもっている	**89.5**	87.6	**87.1**	90.1	**79**	86.3

川本南小の「よかった点（○）」と「課題（●）」

【国語】
○6年生は、県や市の正答率より少し高い。
○領域でみていくと、6年生は「言語事項」で、県や市の正答率より高い。
●4，5年生は、県や市の正答率より低い。
●領域でみていくと、4年生は「読むこと」「言語事項」、5年生は「話すこと・聞くこと・書くこと」「言語事項」で、県や市の正答率より低い。
●問題形式では、4，5，6年生とも記述式が、県や市より大きく下回っている。
●文章を読み、適切なものを選ぶ問題に課題がある。
●情景や心情を読み取る、自分の考えを明確に書く、言語事項の理解の問題に課題がある。
【算数】

〇領域でみていくと、4年生は「図形」、6年生は「数量関係」で、県や市の正答率より高い。
●4，5，6年生は、県や市の正答率より低い。
●領域でみていくと、4年生は「数と計算」「量と測定」「数量関係」、5年生は「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」、6年生は「数と計算」「量と測定」「図形」で、県や市の正答率より低い。
●正答率が低い学習内容は、4年生では、分数の大小、長さの単位、時刻の求め方、はかりの読み取り、5年生では、四則の混合した式や（　）を用いた式の計算、四捨五入、図形の面積、伴って変わる二つの量の関係を式で表す、6年生では、混合した整数と小数の計算、異分母の分数の減法、三角形や台形の面積、多角形の内角の和、展開図からできる角、直方体の体積の説明等である。
●数学的な考え方で記述式の問題の正答率が低い。
【質問紙】
〇全体的に県と比べて高い項目が多い。
〇家で宿題をしているや勉強は将来に役立つと答えている児童の割合が県と比べて高い。
〇相手の気持ちを考え優しい言葉づかいができる児童の割合が県と比べて高い。
●4，5，6年生とも、平日学校以外で1時間以上勉強している児童の割合が県と比べて低い。

課題への取組・改善策

【国語】
・説明文の楽しさや読み取り方がわかる工夫をする。
・「書きぬく」指導を丁寧に行う。物語文では、登場人物を人物関係図に表し、行動や会話、描写を手がかりに、性格や心情の変化、思いや考えを書き込んでいく学習活動を取り入れる。
【算数】
・朝学習「さんさんタイム」で、課題を踏まえ、1～3年生は各学年で重要な内容、4～6年生は過去の全国学力学習状況調査B問題に取り組ませる。
・基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を図り、単元のはじめで既習事項を十分に振り返らせ、レディネスをそろえる。
【その他】
・朝学習（国語、算数）において、反復練習をする時間を確保し、繰り返し取り組ませる。
・場面に応じたグループ学習での話し合いを取り入れ、自分の考えを説明する機会を増やし、思考力や表現力を高めていく。
・読書量の確保として、家庭読書週間の継続を実施する。